

Hop Step Jump

5

初任者研修第6回 児童生徒理解を深めるために② アンケートの感想から

7月29日と31日は、豊中市立千里体育館を会場に初任者研修第6回児童生徒理解を深めるために②が行われました。今回のグループワークによる人間関係づくり。能勢アウトドアスクール理事・今井正裕先生、指導インストラクターの奥義博先生、西岡なつき先生にお世話になりました。

楽しみながら、ハートプログラムについて学ぶことができて良かったです。どんなことをするのかな？という気持ちで来ましたが、あたたかい気持ちになれて良かったです。今後クラスや部活動で活用できればと思います。

ハートプログラム(HRTプログラム)とは、ヒューマン(Human)・リレーション(Relation)・トレーニング(Training)の略称で、能勢アウトドアスクールで開発された人間関係トレーニングプログラムです。

始めの人間関係を育成することが必要な時代という言葉にはっと気づかされました。どの体験も早く子どもたちとやりたい！と思えるものばかりで、今後必ず活かしていきます！！子供の実態に応じて、何かゲームの前後で子どもの気持ちが変わるものにしたいです。

このHRTプログラムは、いつもと違う表情の先生方に合わせてくれました。

今日は、いつものような形式の研修ではなく、実際に体を動かし、子どもたちの気持ちになって取り組めたのでとても楽しかったです。子どもたちに実際やってもらいたいと思う反面、中に入れない子どもへの対応に不安を感じます。しかし100%参加できなくても輪の中に入ってみんなと同じことをするということが大切だと思うので、積極的に参加してもらいたいと思います。

ほとんどの人が初めて話すメンバーでの活動でしたが、初対面でこんなに活動が盛り上がったのだから、クラスで行ったら、もっと楽しくできる！と思った。私のクラスには今、「達成感を味わう」ということを子どもたちが経験していくべき状況にあるので、今日学んだことを取り入れていき、目標→達成→目標→達成…を積み重ねていきたいと思います。

多くの皆さんが活動に自然に引きこまれ、初対面の緊張感や、グループから外れるのではという恐怖感が薄らいでいくのが見て取れました。また一体感や充実感を感じた先生も多かったようです。それも今井先生や奥先生の巧みな指示や目標設定、そして積極的にかかわろうとする先生方の姿勢があったからでしょう。

「先生」という存在の大きさを改めて感じた。先生の一言で子どもの価値が全然違うものになるし、「大丈夫だよ」という構えがあることで子どもの気持ちも楽になると思った。常にポジティブな声かけをしてあげたい。

先生たちが笑顔で必死に取り組む姿はとても素敵でした。先生方の中でもリーダーシップやフォロアーシップが見て取れたり、笑顔や笑いによって、さらにモチベーションが上がっていく様子が見て取れました。でも当然、得意・不得意はあるわけで、これまでにアイスブレイクで余計に凍りついてしまう人もいたようです。

正直グループワークは苦手です。小学校の教諭になれば参加(自らすすんで)しなかったと思います。個々の強さよりもチームワークが重要だということを一学期の小学校の生活のいろいろな場面で感じたので、二学期の最初に取り入れて組み体操の授業をスタートさせたいと思います。ありがとうございました。

もちろん個々の力でも目標を達成することは可能です。でもチームワークを発揮すればもっと大きなことを成し遂げるチャンスが広がります。多様な力を持った仲間たちが、共通の目標に向かって努力することの大切さや楽しさを体験から学びとる。そういった経験は子どもたちの自尊感情も醸成します。

とはいえ、一回の研修を受けるだけではなかなか実践できるものではありません。こういったグループワークは、人権教育のプログラムやリーダー養成プログラム、構成的エンカウンターやファシリテーター養成、ライオンズクエストなど様々な関係書が出版され研修も実施されています。是非、今回の研修をきっかけに、引き続き研究、実践してみてください！！